



嬉野市立大野原小中学校

高原の風

令和4年11月21日 第12号

文責 校長 武藤 敏

学校教育目標

「かがやく大野原っ子の育成」

～ 新しいことに挑戦 様々な人との協働 社会に貢献 ～

☆ やる気いっぱい ☆ 笑顔いっぱい ☆ 元気いっぱい ☆ わくわくどきどきいっぱい

大野原ふるさと文化祭

“♪ いきつく場所は 大野原 ♪” 全校合唱「心のふるさと」の歌声で令和4年度の「大野原ふるさと文化祭」が開幕しました。今年は、「This is me!～ふるさとで輝く～」のスローガンの元、みんなの個性が輝き、ふるさとへの感謝の気持ちを表現し、記憶に残る文化祭にしたいとの思いで実施しました。

小学生は小学生の個性を出し、ふるさと大野原への思いが立派に表現できていたと思います。中学生は、それぞれの役割に責任をもった活動ができ、文化祭を成功させようとする強い思いが感じられ頼もしさを感じました。

大野原ふるさと文化祭



合唱【心のふるさと】中学生のバイオリン伴奏による全校合唱でした。美しい音色に元気のよい歌声が響き渡り、とても感動的でした。



バイオリン演奏（小3・4）【キラキラ星変奏曲】3年生は、今年から本格的に練習したということですが、4年生に負けず劣らずの演奏ができました。



1・2年生の劇「見つけたよ！うれしのきりり」。町探検で学んだことを堂々と発表できました。元気よくできました。



3・4年生の劇「お茶の世界へ、ようこそ」。普段何気なく飲んでいるお茶が、生産者さんの知恵や努力によって、より美味しいお茶になることがよく伝わる劇でした。とても工夫されていました。



5・6年生学習発表劇「長崎、ふしぎ発見」。修学旅行で学んだことを、クイズ番組形式で楽しく発表できていました。様々な学びの様子が伝わってきました。



中学生による学習発表劇「タイムスリップ修学旅行」。楽しかった鹿児島・熊本方面への修学旅行を題材に、見学場所等の思い出を劇にして紹介してくれました。魚の「おじさん」も登場し、笑いも交えた意味深い発表でした。佐賀の歴史についても1年生がしっかり発表できました。さすが中学生です。



文化祭当日、嬉野市教育委員会の方と兵庫教育大学で研修されている、山口県と兵庫県の先生が参観にいられていました。それぞれの発表の様子や表情をみて「大野原の自然の中でたくましく健やかに成長している」と感想をいただきました。特にバイオリンの演奏については、ビックリされており、先生方も体験していただき「大野原の子供が素晴らしいし、羨ましい」ともおっしゃいました。来年度は、地域の方も呼びして、子供たちの成長と頑張りを見ていただければと思います。

佐賀県優良緑の少年団「最優秀賞」

緑の少年団の活動については、今年8月にも全国緑の少年団からも優良賞をいただきました。今回も、本校が取り組んでいる「伝統的な炭焼き体験学習」や「環境美化運動」等が評価され、最優秀賞を受賞することができました。当日は「森川海人っフェス」の一貫で、表彰式がありました。代表して6年生の真凜さんと朱明さんが、佐賀県知事から直接表彰を受けました。貴重な経験ができたと思います。今後も、この表彰に値する活動を伝統として続けていきたいものです。



日々の学習

小学校4年生の国語の学習で「くらしの中の和と洋」について、それぞれ調べたものを発表しました。「箸とフォーク・ナイフ・スプーン」、「旅館とホテル」、「木造住居と石積住居」、「ご飯とパン」について、それぞれの視点を持ち、調べて分かったことや人に伝えるために便利な言葉を使って上手に発表ができました。4年生の発表を3年生が参観し、来年度の予行練習ができたようです。



※ ご意見・ご感想等ありましたらお寄せください。(担任を通じて結構です。)